

授業科目： 口腔診断学，口腔ペインクリニック学

担当教員： 今村 佳樹，岡田 明子，野間 昇，篠崎 貴弘

授業のねらい	<p>1) 研究法の学修 大学院では，既知の知識に基づいて新しい知見を得るための研究計画・研究遂行・論文作成の方法について学修する。臨床研究，基礎研究を計画，立案し，実行できるように知識を整理する。</p> <p>2) 指導者としての学修 次世代の講座，大学を担っていく研究者および指導者としての自覚を養い，指導法を身につける。</p> <p>3) 専門医療を行う上での基礎知識の習得 口腔診断学では，医科疾患（全身疾患）を有する患者の歯科治療を行うために全身疾患と歯科治療の関係について学修する。口腔ペインクリニック学では，口腔領域に見られる慢性疼痛について病因，症状と新しい治療法を学修する。</p>
テーマ：	<p>1) 各種病変のスクリーニングと鑑別診断の確立 2) 不安や疼痛を有した患者の身体・精神的状態の診断と管理（鎮静法等の全身管理を含む） 3) 口腔顔面領域の神経疾患（感覚障害，運動障害）の診断と治療法の理解 4) 関連痛と神経因性疼痛，特発性口腔痛（特に口腔灼熱症候群）の病態の解明と治療法の検討 5) 慢性痛における精神的要素の評価に関する研究</p>
内容：	<p>講義，抄読会，研究計画ならびにデータ発表会を通して，討議を行う。 学会発表を通して，得られたデータを報告するための整理の仕方を習得する。 論文作成を通して，論文作成上のルール，構成の仕方，考察の組み立て方を習得する。</p>
成績評価：	<p>第1～3学年では，実験，臨床研究の立案とその進捗状況の報告，講義や検討会への出席状況，学会発表，学術雑誌への投稿等の活動状況を総合して評価，判定する。第4学年では，学位論文の取りまとめ状況をもって評価，判定する。</p>
その他：	<p>診断学では，口腔疾患だけでなく，全身疾患を有する患者の口腔治療に際しての全身ならびに局所診断と状態評価，患者管理が問われる。診断学は，これらの診断学に基づいた患者の心理状態ならびに急性疼痛の管理を含み，ペインクリニック学は診断に基づいた慢性疼痛の管理を含む。これら2つの教科は間断のない一連の学問で成り立っていることを学修する。</p>